

鬼怒川温泉地区

◆目標とする街並み

風光明媚な自然と調和した賑わいある湯の郷の街並み

◆まちづくりの心得

- 心得1 鬼怒川の美しい渓谷の魅力を高めましょう
- 心得2 街並みと山並みとの調和に配慮しましょう
- 心得3 そぞろ歩きが楽しめる賑わいの温泉街をつくりましょう

◆まちづくりの作法

- 作法1 山並みの稜線やみどりの連続性を遮らない建物高さとしましょう
- 作法2 建物の低層部は、店舗を連続させましょう
- 作法3 渓谷沿いの建物は、対岸や橋からの眺望にも配慮しましょう
- 作法4 歩行者にやさしい魅力的な沿道空間を演出しましょう
- 作法5 渓谷の美しい景観を堪能できる快適な空間をつくりましょう
- 作法6 夜間の渓谷美を演出しましょう
- 作法7 安全で魅力的な夜間景観をつくりましょう

※全地区共通のガイドラインと併せてご活用下さい。

◆目標とする街並み ～地区の皆さんが描く街並みの将来像～

風光明媚な自然と調和した 賑わいある湯の郷の街並み

鬼怒川温泉には、鬼怒川の溪谷とその溪谷に沿って並ぶ建物群によって形成された景観があります。溪谷の自然美と建物群の人工美の調和を図ることで、鬼怒川温泉ならではの街並みの魅力を向上させると共に、歴史ある温泉街として、賑わいある街並みを目指しましょう。

◆鬼怒川温泉地区の景観資源 ～鬼怒川温泉地区で大切にしていきたいもの～



心得 1

鬼怒川の美しい溪谷の魅力を高めましょう

地区内を縦断する鬼怒川の美しい溪谷は、本地区を象徴する誇るべき貴重な景観資源です。水とみどりと建物群が織りなすその美しさは、四季を通じて多くの人を魅了します。この美しい景観を守り、より魅力的なものとしていきましょう。

心得 2

街並みと山並みとの調和に配慮しましょう

鬼怒川温泉地区は、鬼怒川を中心に温泉街が形成され、その周りを四季の彩り豊かな山々を取り囲んでいます。

街並みと山並みとの調和に配慮し、溪谷沿いの独特の地形によって生まれる、まちのみどりと背景の山並みの連続、山や建物から見下ろした溪谷沿いの街並みをより美しく見せましょう。

心得 3

そぞろ歩きが楽しめる賑わいの温泉街をつくりましょう

のんびりとまちを歩き交う人も、温泉街ならではの景観のひとつです。

広い地区内を歩きたくなるような、鬼怒川らしい魅力ある場所をいくつも用意し、それらを快適な歩行空間によって結んで来訪者の回遊性を高めることで、にぎわいある雰囲気を出しましょう。

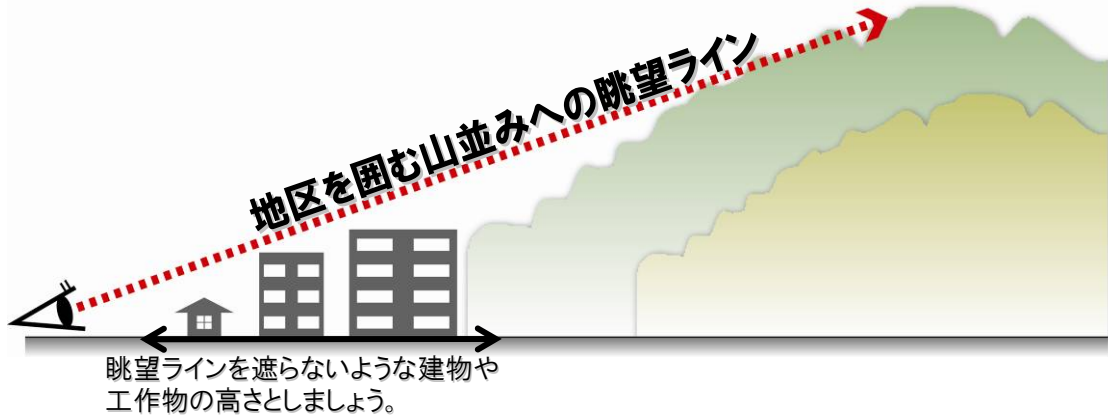
◆まちづくりの作法 ～「目標とする街並み」を実現するための具体的な方法～



作法1 山並みの稜線やみどりの連続性を 遮らない建物高さとしましょう

■山並みへの眺望と建物高さ

特に、鬼怒川温泉駅、鬼怒川公園駅は、多くの来訪者が利用する鬼怒川の主要な玄関口です。駅を降りたその時から鬼怒川の自然の素晴らしさを感じてもらえるように、建物等の高さに留意し、駅前空間からの山並みへの眺めを確保しましょう。



■鬼怒川温泉駅前からの眺望



▲現在の眺望



▲高層の建物が立地した場合の眺望

■鬼怒川温泉駅前からの眺望



▲現在の眺望



▲高層の建物が立地した場合の眺望



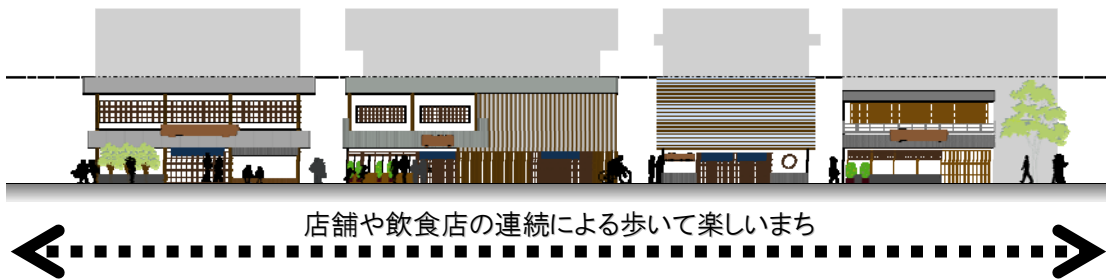
作法 2

建物の低層部は、店舗を連続させましょう

■店舗の連続

沿道建物の低層部に、賑わいを創出する用途(店舗や飲食店等)を連続させることで、来街者等の回遊性を高め、歩いて楽しいまちの形成を図りましょう。

特に、地区内に点在する遊休地や廃旅館は、美観を維持するだけでなく、新たな店舗やイベントスペースとして活用し、沿道の賑わいの連続性を創出しましょう。



作法 3

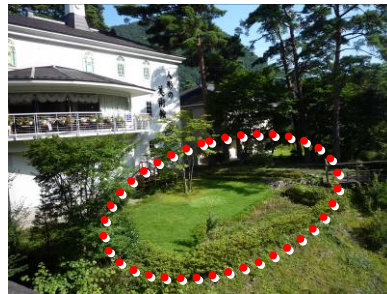
溪谷沿いの建物は、 対岸や橋からの眺望にも配慮しましょう

■溪谷に背を向けない建て方

川沿いの建物は、旅館やホテルに限らず、対岸や橋からの眺望に配慮した意匠とするなど、建て方を工夫しましょう。



▲溪谷側に自然素材の垣を設けている例



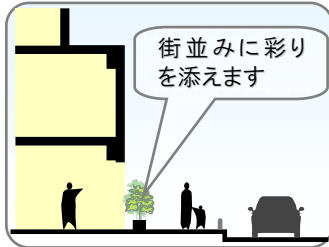
▲緑豊かな“引き”のスペースを設けている例



作法4 歩行者にやさしい魅力的な沿道空間を演出しましょう

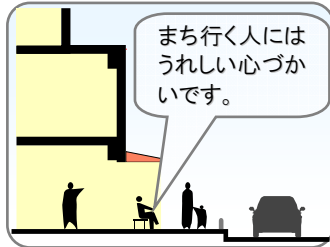
■店先の演出

様々な方法で個々の店先を演出することで、魅力ある温泉街をつくりましょう。



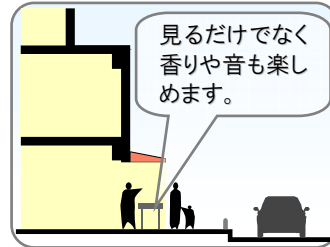
▲ 植栽による演出

街並みに彩りを添えます



▲ ベンチ等の設置による交流・憩いのスペースの確保

まち行く人にはうれしい心づかいです。



▲ 建物の中と外の視線をつなぐような開放的な店構え

見るだけでなく香りや音も楽しめます。

■地区内での店先の演出の例

ベンチなどを設けた交流・憩いのスペースを確保したり、道に対してできるだけ開放的な空間づくりを心がけることで、より魅力的な店先空間となります。



▲ 植栽と特徴的な看板で演出している例



▲ お店の雰囲気が感じられるよう工夫された店先の休憩スペース



■大規模な施設の場合

大規模な建築物が建つ敷地内には、来訪者が憩える空間(足湯、休憩所、渓谷の眺望場、ギャラリーなど)を設けるように努めましょう。

また、駐車場等の動線に配慮した上で、沿道から見える位置に配置するか、見えないところに配置する場合は沿道から分かりやすい案内を行いましょ。

店舗だけでなく、大型の宿泊施設についても、歩行者にやさしい空間を提供することで、沿道の連続した賑わいをつくっていきましょう。



▲ ホテルのエントランス部に足湯を設けている例



作法 5 溪谷の美しい景観を堪能できる 快適な空間をつくりましょう

■ 快適なビューポイントの創出

溪谷沿いや橋周辺を足湯やベンチなどで演出し、より快適な空間とすることで、多くの人が溪谷の美しい景観を堪能できるようにしましょう。



▲くろがね橋脇の足湯
(鬼怒子の湯)



▲イベント空間としての利用も
できるふれあい橋



▲溪谷沿いの緑豊かな
遊歩道



作法 6 夜間の溪谷美を演出しましょう

■ 建物の明かりとライトアップによる演出

投光器等で溪谷沿いのみどりや建物、橋などをライトアップし、建物から漏れる光と合わせて美しい夜景をつくりましょう。

設置する機器は、昼間の見え方にも配慮した色彩・位置としましょう。



▲光で浮かび上がる溪谷の魅力的な夜景



作法7 安全で魅力的な夜間景観をつくりましょう

■照明による温泉街の演出

温泉街の風情を演出する照明を設置して、夜も安全、快適にそぞろ歩きができる環境を整えましょう。

連続して配置することで、視線や行先を誘導することもできます。



▲低い位置に連続して照明を配置している例
(ふれあい橋)

■手作り行灯による照明

地区の一部では、手作りの行灯を沿道に灯して、風情ある夜の温泉街を演出しています。

